

環境保全

廃棄物削減・リサイクル

当社は、日本経団連の環境自主行動計画（循環型社会形成編）に参加し、2015年度目標（2015年度の産業廃棄物の埋立処分量を2000年度実績比65%程度削減する）を既に前倒しで達成しています。そのため、現状非悪化の原則に基づき削減活動を進めています。

2013年度の産業廃棄物発生量は前年度より2,500トン削減しました。一方埋立処分量は、再生困難廃プラスチックが増加したため、330トン増加しました。引き続き埋立処分量を増加させないよう努力していきます。

ゼロエミッション（産業廃棄物の発生量に対する埋立処分量が1%未満）については、網干工場、大竹工場、播磨工場の3工場が継続して達成しました。

2010年度の改正廃棄物処理法に基づき、自社処理施設の維持管理に関する情報を当社ホームページで公表しています。

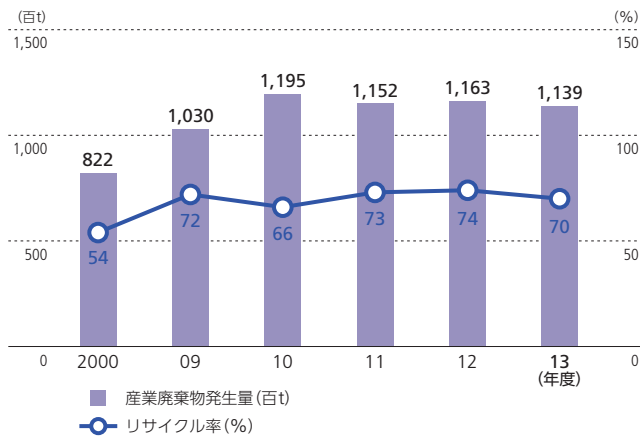
<http://www.daicel.com.csr/maintenance.html>

構外グループ企業の産業廃棄物発生量は前年度より300トン、埋立処分量は4トン削減しました。また、ポリプラスチック（株）、ダイセル物流（株）、DMノバフォーム（株）、大日ケミカル（株）はゼロエミッションを継続して達成しました。

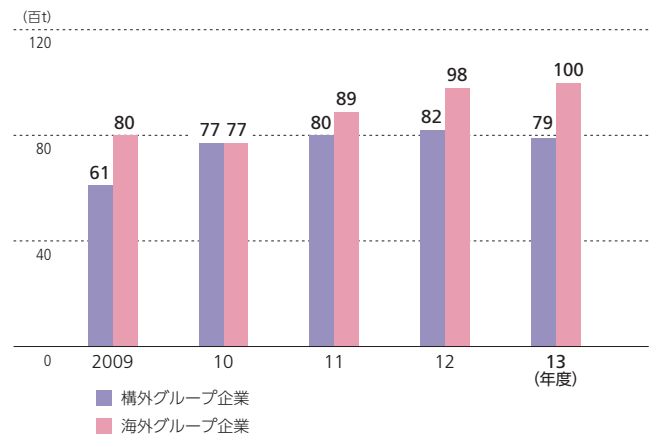
事業拡大の結果、海外グループ企業の産業廃棄物発生量は前年度より150トン増加しましたが、埋立処分量の増減はありませんでした。

今後も引き続き埋立処分量の削減に取り組んでいきます。

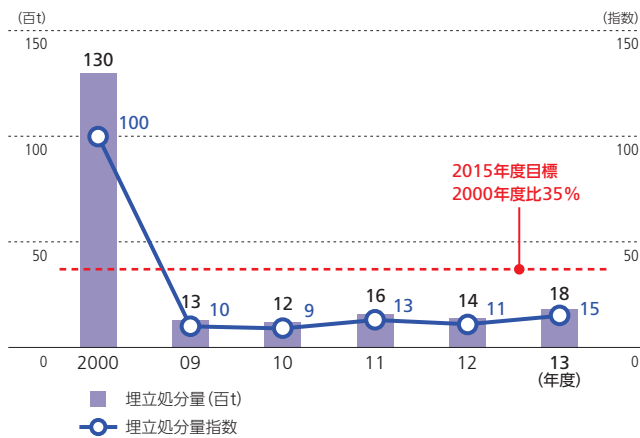
→ 当社の産業廃棄物発生量とリサイクル率の推移



→ 構外、海外グループ企業の産業廃棄物発生量の推移



→ 当社の埋立処分量と指数の推移



→ 構外、海外グループ企業の埋立処分量の推移

